

**コロナ支援・確定申告
何でも相談窓口**

0120-22-0000 (平日午前10時～午後4時)
京商連事務局が対応し、各民商に相談をつなぎます

京商連News

(部内資料)

発行 京都府商工団体連合会
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入
函谷鉢町78番地
京都経済センター4階409
電話 075(353)3551 FAX 075(353)3552
<http://www.kyoshoren.gr.jp/>
E-mail : info@kyoshoren.gr.jp
1部10円(購読料は民商会員に含まれています)

京都から 中小業者の声を全国へ



団結かんぱーの掛け声

京商連第64回定期総会開催

京商連は、6月8日(日)に京都経済センターにて、第64回定期総会を開催しました。京都府下の全民間から選出された代議員136人が参加し、全体での出席率は90・7%でした。また、今も分散会を行い、より深い討議が出来ました。

今回の総会の開催に当たり、15の方方が来賓として出席され、多くの団体から連帯メッセージが送られてきました。来賓の方から京都総評の梶川憲議長、金京都企業組合連合会の瀬戸建一副会长、日本共産党京都府会議員の迫祐仁さんより、これまでの情勢の変化と私たち民主党の意義について話をしました。また、前進

矢之輔さんは、文化的な要素が如何に暮らしお中に必要であるかについて語りました。

代表発言では、7人の方からこれまで取り組んできた民商運動についてまたは、これららの民商活動について様々な報告と思いが語られました。分散会の討議では、昨年の分散会内の人数よりもさうに少なくした事により、さらに多くの活発な意見や思いが語られました。



全体会議の様子

分散会の様子

いつも民商役員、事務局の皆様ご苦労様です。今年2月で京商連は70周年を迎えました。これ以上の会員減少にストップをかけ民商の魅力を会員に訴えましょ。私も民商に入会してしまった。

いつも民商役員、事務局の皆様ご苦労様です。54年、誰よりも民商の良さを良く知っています。だから、微力ですが役員も続けていいのだと思いましょう。今年も京商連運動が前進するように役員、事務局皆さんと共に頑張り

民商の魅力を会外の業者に

副会長 国府 久雄

役員・代議員・理事の皆さん、総会に参加していただき、ありがとうございます。政府は消費税引き下げを実施せず、一時の給付で済まそうとしています。アメリカ言いなりで大企業に目を向けた政府

を転換し、消費税率引き下げとインボイス中止を勝ち取るために、皆さん

の営業とくらしを守る運動の先頭に立ち頑張ります。「数は力」です。お紹介を宜しくお願ひ致します。

経験生かしカーフにして

事務局長 丹野 妙子

64回定期総会にて副会長に再任しました。

私は、民商の活動の中

で京商連共済会の理事長もさせて頂いています。

この度、新しく事務局長に選任されました。丹

長年にわたり、民商で

運動を進めてきた経験と

多くの役員さんや会員さ

ん、そして事務局の皆さ

の力と一つにし

て頑張っていきましょ

う。

京商連第64回定期総会にて、方針案・決算予算案とも圧倒的多数で可決され、新役員も拍手で承認を得て今期がスタートしました。皆さんのお声を聞きつつ、規約を遵守し

て運動を前に進めて行きたいと思います。どうか御協力をお願い致します。強く大きい民商建設に向かって共に奮闘しましょう。

営業とくらしを守る先頭に立つ

会長 久保田 憲一

強く大きい民商建設へ

副会長 山内 敬夫

世代継承や会員拡大の必要性痛感

副会長・会計 高木 冬彦

右京民商の会長の高木

務め、今回の総会で京商

連副会長に3年振りに再

任されました。民商運動

社をしています。営業と

暮らしを守る民商の理

念、道徳・団結・共同を

守りながら、微力ですが役員も続けています。民商とくらしを守る運動の先頭に立ち頑張ります。今年も京商連運動が前進するように役員、事務局皆さんと共に頑張りましょう。

7月20日
参院選

みんなで投票しに行こう!!

今年の7月20日は、参議院選挙の投開票日です。私たちの生活は、ここ数年で大きく変わっていました。特に減反政策による米不足は昨年に続き、今年も大きな影響を及ぼしました。また、消費税率も景気の停滞と経済政策の失策と重なり合い、生活を苦しめています。そんな中で行われる今参議院選挙は、私たちの思いを一票に込めて投票し、変える事の出来るチャンスです。

ぜひ、家族や友達を誘って投票に行きましょう!

ぜひ、家族や友達を誘って投票に行きましょう!



仲間がいるからがんばれる

東山民商 藤原 美紀子さん

祇園で「ブティックギオン」を経営する藤原美紀子(76)さんは約50年間同じ場所で経営されてきましたが、大家さんの都合で店舗を引っ越すことになりました。今年の3月から新店舗をオープンされましたのでお話を聞かせてもらいました。

50年続けた店を移転

厳しいです。これまで無料で委託販売していた方たちからも、スペース賃料をいたぐべきかと悩んでいたところです。

ここまで多くの人に助けてもらって商売をしてこられました。これからも仲間と一緒にできる限り長く店を続けていきたいと思います。

いままで多くの人に助けてもらっています。それが21歳の時ですか

ら、もう50年ほど経ったことになります。

私が洋裁学校を卒業後

に、店番を頼まれたのがきっ

かけで働くようになったのが

移転前の店です。前の事業主

が店をやめられることになっ

たとき、若かったのですね

それなら自分の好きな店で

き繼ぐかと思って、その店を引

き継ぐ形で事業を始めたので

まだ仕事を続けています。

以前の店からの常連のお客様

もいらっしゃいますから、ま

だまだ仕事を続けていかなく

てはいけないとthoughtしていま

す。

それに、長年一緒に商売にかかわってくれている人たちもいっぱいいます。私が店をやめたら、その人たちの仕事がなくなってしまうことになります。そう思うともうちょっと頑張らないよね。

とはいっても、支払いも賃が高くなったりし、支払いも



婦人服、着物地うちわ、和小物等

仕事が好き

仕事の内容は、洋服の販売だけでなく、オーダー、お直し、きものリメイクなど。店を始めた時からずっと変わません。そういう仕事が好きだし、それしかできないから、それだけは

下手だけど、仕事だけは

とにかくいいですね。

とにかく器用に販売する

ことは下手だし、支払いも

高いけれど、仕事だけは

頑張らないよね。

とはいっても、支払いも

高いけれど、仕事だけは

頑張らないよね。

とはいっても、支払いも